



避難訓練



活動のねらい

- 救命胴衣を正しく着用して、安全に素早く避難する。
- 安全に素早く避難できるように、約束を守り行動する。

【場所】活動室→3階後部甲板(または多目的室) | 【時間】オリエンテーション終了後

主な学習の流れ

- ①オリエンテーションで救命胴衣の着用方法等を聞く。※オリエンテーション参照
- ②活動室に移動し、訓練の開始を知る。
※放送指示を静かに聞かせ、避難場所を知らせる。
- ③救命胴衣を着用する。
※救命胴衣を取り出し、速やかに着用させる。
※正しく着用できているか確認する。
(ひもはとめられているか。[バックル]ファスナーは最後まで閉めているか。)
※活動室で班の人数を確認し、整列し避難経路を誘導する。
- ④放送の指示で避難を開始する。
※各班担当の指導者は、救命浮環を所持し、児童を避難場所に誘導する。
※「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」の約束を守って、真剣に行動させる。
※最終確認の指導者は、児童が部屋やトイレなどに残っていないことを確認する。
※総括責任者は、避難場所へ移動し整列についての指示を行う。
- ⑤整列する。
※避難場所に整列させ、人数確認を行う。☆教職員による人数確認
※最初に来た班を中央から整列させる。その後、順次その列の左右に整列させる。
※各班担当の指導者は人数確認後、総括責任者に人数を報告する。
※総括責任者は、乗船者全員が集合したことを確認し、FS職員に報告する。
- ⑥講評を聞く。
※総括責任者が講評をする。(所要時間5分以内・訓練中の児童の様子等)
FS職員で補足説明をする。(救命設備や港までの避難方法等)
- ⑦活動室に戻り、救命胴衣の後始末をする。
※来た時と同じ避難経路を通り、避難経路を再確認させる。
※救命胴衣を元あった通り後始末させ、収納場所に正しく入れさせる。
※各班担当の指導者で、大人用、児童用の救命胴衣の数を確認する。